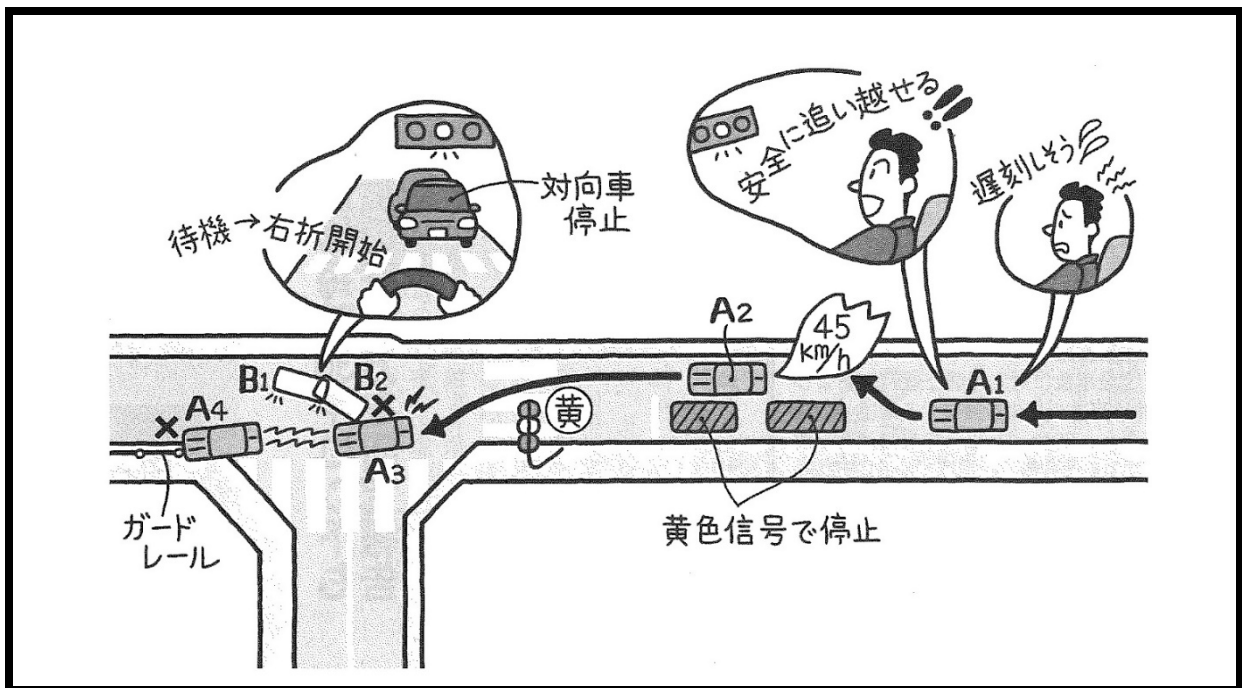


## ■ 事故の概況



事故類型：追抜追越時

発生日時：平日 朝9時過ぎ

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

当事者B：軽貨物車 40歳代 男性

## ■ 事故の概要

Aは、朝の出勤時間に間に合うかどうか焦りを覚えながら運転していました。Aの前には時速30kmでゆっくり走っている車があり、追い越し禁止区間であったためしばらく追従走行せざるを得ませんでした。前方に左方からの交差点がある丁字路交差点に差し掛かり、前走車両2台が黄色信号で停止したので、このままでは遅刻してしまうと思い、黄色信号ならば安全に追い越して通過してしまえと判断、時速約45kmに加速し対向車線に出て丁字路交差点を直進しようとしてしました。そのとき対向から右折を開始したB車に気づき左へ急ハンドル急ブレーキをかけましたが間に合わず衝突、さらに進行方向左側のガードレールに衝突してしまいました。

一方のBは青信号で丁字路交差点に進入し右折待機しました。対向車が停止したのでゆっくりと右折を開始したときA車を発見しましたがまったく予測していなかったのでブレーキを踏む間もなく衝突してしまいました。

## ■ 事故から学ぶ

交差点およびその手前30m以内は追越し禁止場所とされています。黄色信号であるかどうかにかかわらず追越しは禁止です。

遅刻しそうであるとか、予定外のことが起き約束に間に合いそうもないなど、様々な理由で急ぐあまり焦る運転になることがあります。そのような状態では普段よりも荒っぽい運転になり速度も速く走りがちになります。自分がそのような運転になっていると自覚したときは一呼吸おいて冷静になって自分自身を客観的に見つめることができるよう心掛けたいものです。また、自動車通勤するときは時間的余裕をもって安全運転で通勤しましょう。